

平成27年度 活動方針

愛媛県連盟スローガン

44年ぶり日本開催の23WSJを成功させよう

(正しいスカウティングの展開)

いよいよ今年です！23WSJ、この大会の成功こそ、日本のスカウト運動活性化への第一歩であり、大会の成功に注いだエネルギーを各隊、各団の活動の充実につなげたい。

そこで今年度の活動方針を、正しいスカウティングの展開とする。大会に参加するスカウトの事前訓練を充実させ、ジャンボリー会場ではキャンプ生活や各種プログラムに積極的に参加するとともに、世界各国のスカウトと交流を深めてもらいたい。また、ジャンボリー終了後にイギリス40名・オーストラリア200名のホームステイ受け入れについては、国際交流の絶好の機会ととらえ、みんなが「おもてなし」の心で外国スカウトに接して、日本の良さを知らせたい。そして、国際交流の機会が多いボーイスカウト運動の特徴を生かし、英会話力の向上に努めたい。また、10月に開催されるカブラリーにおいても、各隊における日頃の正しいスカウティングが展開されるような運営に心がける。

次に、組織の充実については、今年度を加盟員減少ストップ元年としたい。そのため、団活性化特別委員会で組織の充実や活性化の方策を検討するとともに、団委員長研修会、組織拡充サミットを開催し、前年度登録数の確保を目指す。また、昨年度から取り組んでいる愛媛県連盟ホームページの充実を図るとともに、ボーイスカウト運動をPRするDVDを作成し、加盟員獲得の一助としたい。

また本年度から施行される、上進時期の変更に対しても、遅滞なく移行できるように努めたい。

指導者養成においては、正しいスカウティングの展開を行っていくために、日本連盟主催の各種講習会（組織拡充サミット、スカウトソング研修会、スカウトゲーム研究集会等）に代表者を派遣し、その研修内容を指導者に伝達講習できる機会を設けたい。さらにビーバースカウト部門の指導者を対象に講習会を開催する。また、定型訓練であるボーイスカウト講習会、WB研修所CS課程中国・四国第15期（愛媛）、WB実修所への参加を推進する。

活発なスカウト活動を展開していくためには、「ちかいとおきて」の実践、班制教育、進歩制度、野外活動を柱とする正しいスカウト教育の展開が必要である。そのため、三坂野営訓練の実施による班長の育成、ベンチャー大会やローバース会議を通して青年スカウトのレベルアップ、ユースリーダー会への支援を通して若手指導者の育成を図りたい。その上で、小人数隊への支援に力を入れるとともに、ビーバースカウト部門からローバースカウト部門への各種プログラムの提供を行い、県下各地で正しいスカウティングが展開されるようにしたい。また、「スカウトのちかい」にそって、祝祭日に国旗を掲揚し、神（仏）と国とに誠を尽くす精神を醸成していきたい。

《重点目標》

- 1 23WSJを成功させよう。
 - ・23WSJの準備と訓練、参加体験の波及効果
 - ・23WSJ後のホームステイ受け入れ準備、受け入れ体験の波及効果
 - ・英会話教室の実施（各地区で実施）

- 2 前年度登録数の確保を目指す。
 - ・団活性化特別委員会の開催
 - ・団委員長研修会の開催
 - ・組織拡充サミットの開催
 - ・県下一斉隊員募集月間の実施
 - ・小人数隊への支援
 - ・全国ORIZURUキャラバンの活用

- 3 ボーイスカウト活動の見える化の継続、展開を図る。
 - ・県連ホームページで県連、地区、団の活動や情報をリアルタイムで発信
 - ・ボーイスカウト運動をPRするDVDの作成

- 4 正しいスカウティングの展開を図る。
〈指導者に対しては〉
 - ・ボーイスカウト講習会（東、中、南予地域にて開催）の開催
 - ・WB研修所CS課程中国・四国第15期の開設
 - ・指導者のための野営法の実施
 - ・安全セミナーの実施
 - ・ゲーム・ソング講習会の開催
 - ・ユースリーダー会の充実
 - ・ビーバースカウト部門の指導者を対象とした講習会の開催・ビーバースカウト部門からローバースカウト部門への各種プログラムの提供
 - ・上進時期の変更に対する情報提供
〈スカウトに対しては〉
 - ・三坂野営訓練の実施
 - ・ボーイスカウト研究発表会の開催
 - ・ローバースカウト会議の充実
 - ・三指の敬礼の日常化

- 5 各種大会を開催する。
 - ・カブラリーの開催
 - ・ベンチャー大会の開催

- 6 ネットカチーフの端を結ぶ運動の継続、展開を図る。
 - ・地区コミッショナーが中心となり、各地区で展開

- 7 祝祭日の国旗掲揚を推進する。

[総務委員会]

1 目標

愛媛県連盟の活発な活動・運営が成されるよう、環境づくりや支援に力を入れる。

2 重点目標及び開催事業

(1) 財政

賛助会員の拡充を図るとともに、個人会員の拡充を呼びかける。事務局との連携を図り、今後の財政問題の検討をしていく。

(2) 健康

AEDの活用、講習会について各地区での年間計画に位置づける呼びかけをする。「そなえよつねに」危機管理をしっかり自覚し、講習会の大切さをスカウトに意識させる。

AED本体の耐用年数切れに対処する。(県連盟1台、各地区1台、計6台)

(3) 広報

いしづちNo.122を発行する。(賛助会員名簿を掲載する)

県連盟ホームページの更新等について、効果的な活用ができるように工夫改善していく。

スカウト活動をPRするDVD作成事業に取り組む。

(4) 国際交流・各種大会や研修会

英会話教室の取り組みの充実についての支援体制を整える

ホームステイ受入れの協力体制を整える。(イギリス30名 オーストラリア200名)

(5) 第23回世界スカウトジャンボリー

第23回世界スカウトジャンボリー成功のための参加隊への支援協力をする。

(6) 県連盟年次総会

県連盟年次総会の開催準備及び運営を担当する。

[組織拡充委員会]

1 目標

(1) 加盟員増員につながる募集内容の充実とノウハウの共有化を図る。

「+7、-0」を目標とし、各種委員会、各地区との連携強化、協力を図る。

(2) 加盟員増員とともに現スカウトの質を高め、充実したプログラムの実施により、加盟員の減少を抑制してゆく。

(3) 各団友情バッジを活用し、口コミによる入隊者を増やし、現スカウトが銅・銀・金色の友情バッジを取得するようにする。

2 重点目標及び開催事業

(1) 募集チラシの作成を支援する。

県連盟作成チラシの配布及び自団の作成チラシへの助成を行う。

(2) のぼり旗を体験集会や通常の集会時に掲げ、地域社会に活動をアピールする。

(3) 県連盟ホームページの充実とブログ等の活用を検討する。

情報提供者がいつでも直接情報を掲載できるシステムを構築するとともに、情報のスムーズな伝達及び公開をめざし共有化を図る。

(4) 野外での活動を重視するなど、スカウト活動のプログラムの充実を図り、正しいスカウト教育を行うことで、加盟員の減少に努める。

(5) 友情バッジの説明を徹底し、スカウトや保護者からの口コミによる入隊者増を目指す。スカウトが銅色、銀色、金色のどれかの友情バッジを取得するように努力する。

スカウト活動により「生きる力」を養い健全な心と体を育成する運動であるということを広めていく。

「自分の団・隊・組・班をつぶすな」という気持ちを、スカウト並びに団関係者が共に協力し

ていく。

- (6) 年間募集増員 10 名以上達成団で、かつ前年度より加盟数が増員した達成団の表彰を行う。
- (7) 県組織拡充サミットを開催し、加盟員増加に関する方策の共有化を図る。

[指導者養成委員会]

1 目標

アダルト・リソース方針に基づき、幅広く成人指導者を確保し運動の拡大と指導力の向上を図るため各種指導者訓練を実施する。

2 重点目標及び開催事業

(1) 定型訓練を支援する。

- ① 「ボーイスカウト講習会」の実施 参加者各会場 15 名以上を確保

東予地域（5 月 31 日 新居浜）

南予地域（10 月 25 日 西予）

中予地域（2 月 7 日 松山）

- ② ウッドバッジ研修所の開設

WB 研修所カブスカウト課程中四国第 15 期（5 月 3 日～5 日） 参加者 15 名以上を確保

- ③ 安全セミナーの実施（7 月 12 日）

松山市野外活動センター 参加者 15 名以上を確保

- ④ 指導者養成助成

(2) 定型外訓練を実施する。

- ① 指導者のための野営法の実施（10 月 11 日）

- ② ソング・ゲームの講習会の実施（8 月 30 日）

(3) ユースリーダーを養成する。

- ① ユースリーダー会の開催

(4) トレーニングチーム会充実のための支援をする。

- ① 年 3 回トレーニングチーム会の開催

- ② トレーナー研究集会への派遣

(5) 関定賞顕彰をする。

(6) ビーバースカウト部門の指導者を対象とした講習会を開催する。（8 月 23 日）

(7) ビーバースカウト部門からローバースカウト部門への各種プログラムを提供する。

[野営行事委員会]

1 目標

スカウト活動の充実発展を図るために各種大会・行事の企画運営並びに支援にあたる。

2 重点目標及び開催事業

(1) 野営・行事の充実を図る。

- ① 23WSJ への支援

- ② 三坂野営訓練の支援（担当：進歩委員会）

- ③ カブラリーの運営・支援（主管 西条地区）

- ④ ベンチャー会議の支援（担当：進歩委員会）

- ⑤ ボーイスカウト研究発表会の支援（担当：進歩委員会）

- ⑥ ベンチャー大会の支援（担当：進歩委員会）

(2) 三坂野営場の整備及び活用を促進する。

- ① 和敬荘及び新和敬荘並びにサイトの維持管理（野営場の草刈り・H27.6.28 予定）

和敬荘のかたづけ、スカウト広場の改修

- ② 三坂野営場活用の促進

各団への活用督励及び野営場活用の促進

③ 訓練機材の設備

県連盟並びに三坂野営場の備品台帳の整備及び野営場・資機材の活用の促進

[進歩委員会]

1 目標

スカウトの進歩に繋がる活動を推進し、スカウト活動を活性化する。

2 重点目標及び開催事業

- (1) カブスカウト部門の一部プログラム改正およびボーイスカウト部門の初級章細目改正の周知徹底をする。
- (2) 菊・隼・富士章取得のため、指導の充実を図る。
- (3) 技能章考査委員の拡充を図る。
- (4) 菊・隼・富士スカウトの面接を実施する。
- (5) 三坂野営訓練を実施する。
- (6) ベンチャー会議を開催する。
- (7) ベンチャー大会を実施する。
- (8) ローバー技能研修を実施する。
- (9) 富士スカウト顕彰式を実施する。
- (10) 富士スカウト表敬訪問に派遣する。
- (11) ボーイスカウト研究発表会を実施する。
- (12) 全国ローバース会議に派遣する。

[団活性化特別委員会]

1 目標

各地区の団委員懇談会で話われた各団の現状報告と提案された改善案を基に組織の充実や団活性化の方策をまとめるとともに県下の団が一丸となって前年度登録数の確保を目指すため団委員の意識向上を図ることを目的とした団委員長研修会を開催する。

2 重点目標及び開催事業

団活性化特別委員会の開催

- (1) 愛媛県連盟では、ボーイスカウト運動の基となる「団の経営」に視点をあてた団の活性化策を見出そうと考え、各団の団経営の現状を報告し情報交換を通じて、各団が自団の状況を再認識してもらうことを目的として開催した団委員懇談会で話し合われた各団の現状を基に、各委員会、コミッショナーグループ及びトレーニングチーム会から各1名を委員とした「団活性化特別委員会」を開催し、「団委員長研修会」の実施計画の立案・実施及び「団活性化のための方策」をまとめ、理事長に答申する。

【開催予定日】

- | | | |
|-----|----------------|-------------|
| 第1回 | 平成27年6月21日(日) | 愛媛県生涯学習センター |
| 第2回 | 平成27年12月20日(日) | 愛媛県生涯学習センター |
| 第3回 | 平成28年3月13日(日) | 愛媛県生涯学習センター |

- (2) 団委員長研修会の開催

愛媛県連盟では、今年度を加盟員減少ストップ元年とするため、その原点である各団委員の意識向上を図ることを目的とした団委員長研修会を開催する。

【開催予定日】

- | | | |
|------------|----------------|-------------|
| 第1回団委員長研修会 | 平成27年10月25日(日) | 愛媛県生涯学習センター |
| 第2回団委員長研修会 | 平成28年2月28日(日) | 愛媛県生涯学習センター |